



クリスマス・忘年会



吉田光延 画

発行
社会福祉法人いわき福音協会
はまなす 荘
いわき市平中平窪字二堂田2
〒970-8002 ☎(0246) 8711
編集責任
はまなす荘新聞編集委員会

新年を迎え、皆様におかれましてはどんな一年のスタートを切ったのでしょうか。今年には、「平成」から新しい元号になります。九月にラグビーワールドカップが、そして十月には消費税が10%に引き上げられる等、大きなできごとが予定されています。心身共に、健康で、明るく、元気に、計画達成に向け、一步一步忠実に歩んで行こうと思いを新たにしたいところです。

日々是好日

所長：志賀道子

佛子園理事長の雄谷良成氏が、支援する側とされる側。支援員と利用者。のような福祉の共生ではなく二元性から脱却した「ごちゃ混ぜの共生」が、福祉の町づくりだと言っています。関係性の垣根を越えて、人と人がふれあう社会、共に生きる社会、共感してくれる人がいる社会が『ごちゃ混ぜ』ならば、理論で取り組むよりも、老若男女が自然に集まって、ふれあっている社会になれば、偏見や差別という概念はなくなり「共同体」が人と人をつなぎ、未来につながる一歩を横一直線で踏み出せるのではないのでしょうか。その時、その場で私にできることを精一杯愛をもって、ごく当たり前の感覚で生きていきます。



南限の花

年も明け、毎日、寒い日が続いております。外に出る時はマフラーに手袋は欠かせず、家でも暖房やコタツに頼りきりの毎日を送っています。冬と言えば、クリスマスにお正月と、美味しい食べ物を食べられる機会もとても多いですよ。母が作るお雑煮が好物の私にとっては、食欲の秋ならぬ「食欲の冬」になってしまいました。あったかくて美味しい食べ物、体だけでなく、心まで温めてくれる魔法の食べ物だと改めて思いました。まだまだ寒い日々が続きます。皆さんも、体をあったかくして、あったかい美味しいものを食べて、身も心も極暖で、この寒い冬を乗り切りましょう。



みはま福祉祭り in はまなす

九月一日

「第四十二
回みはま福
祉祭」がは
まなす荘で
開催されま
した。

今年は雨
にもかかわらず、たく
さんの方に
ご来場いただき、
また、内容を一部変更しての
開催でしたが、皆様のご協力
により無事に終えることがで
きましたこと深く感謝申し上
げます。

アトラクション団体では、

普 通 救 命 講 習

十二月二十日に今年度二回
目となる普通救命講習を実施
しました。利用者の方は自ら
痛いとか変なんだと訴えるこ
とが困難なので私たちが常に
寄り添い少しの変化も見の
さないうで支援することが重要
な使命です。今回も心肺蘇生
法・AEDの使用の実技
をメインに行いました。DV

九品寺附属平窪幼稚園の園児
による鼓笛隊の演奏や久之浜
海神乱舞のよさこい、加藤
ちゃぼさんのラテンパーカッ
ションで会場を大いに盛り上
げて頂きました。

また、多くのボランティア
の方々のご支援、ご協力誠に
ありがとうございました。

来年は、はまきく荘が会場
となりますのでよろしくお願
い致します。



Dを見ながら胸骨圧迫・人工
呼吸の手技がしっかりとでき
ていたと思います。

どんな時でも焦らず落ち着
いて対応できるよう、日頃か
らイメージをしておくことに
より有事の際に対応が出来る
と思います。

講習を受けたから大丈夫と
いうことではなく、日頃から
考えながら支援を行っていく
とともに、今後も継続して講
習を実施していきたいと思
います。



桜が丘愛生園との自治会交流会

十月二十六日、桜が丘愛生
園とはまなす荘の自治会交流
会を実施しました。今年、は
桜が丘愛生園の自治会役員五
名と職員二名が来所され、日
中活動での取り組みや意思決
定支援などにつ
いての意見交換を行
いました。

昼食後は、互
いの施設に関する
〇×クイズを行
いました。意見交換
時の情報をメイン
とした問題でした
が、施設長の性別
や昼食の中身につ
いてなど意表をつ
く問題もあり、ク
イズは大変盛り上
がりました。成績
上位者にはメダル
の御褒美もあり、
笑顔が絶えない交
流会でした。また
愛生園の皆さんよ

り、日中活動で作成した素敵
なコースター
を頂きました。
ありがとうございました。



みはま愛護の会



十月二十九日～三十日、みはま愛護の会研修旅行がありました。

一日目は、東日本大震災に



より被災され、その後群馬県に六年もの間避難されていた社会福祉法人友愛会の事務局長(寺島利文氏)による講演「震災から七年 避難法人の今」と障害者支援施設光洋愛成園の見学です。

講演では、災害時は、自助努力と平時の準備が大切であること、多くの方との縁と協力が感謝し前向きな気持ちを持つことの大切さを学びました。

二日目は、こちらも東日本大震災で被災され、県内外各

地域に避難されていた社会福祉法人福島県福祉事業協会の東洋健生園施設長(吉田英士氏)による講演「東日本大震災における避難経過並びに復興状況報告」と障害者支援施設東洋健生園の見学です。

講演においては、災害時の準備として、福祉避難所の確保や職員・利用者の緊急時の対応や連絡体制、地域コミュニケーションや福祉関係機関との連携体制の重要性を学びました。

お忙しい中、貴重な講義及び事業所見学をさせて頂き、学びの多い研修旅行となりました。

障がい者週間記念行事

十二月三日から九日まで「障がい者週間」に制定されているのに合わせ、地域貢献の一環として、平窪地区の清掃活動を行いました。今年も、近所の公園までの道沿い、公園内や周りのゴミ拾いを行いました。徒歩班と送迎班に分かれ、臥床者を除く利

用者さんが参加しました。気温が低く、吐く息も白く、軍手をはめて熱心にゴミを拾いました。毎年見られています。空き缶やお菓子の袋、たばこの吸い殻が多く

見られたように感じました。今回の行事を通して、地域の方が気分よく過ごせる環境をつくる事ができたのではないかと思います。そして、「出たゴミは持ち帰る」という、できて当たり前の事を皆ができて、そんな町になるといいなと感じました。

秋のふれあいレクリエーション

秋のふれあいレクリエーションが十月十一日にみはま体育館にて行われました。

「みんなで楽しく体を動かして、おいしくご飯を食べましょう。」をスローガンに利用者、ボランティア、職員が一緒にレクリエーションを通じて体を動かして心身をリフレッシュし、おいしい食事を楽しみました。

自治会長の元氣いっぱいの開会の言葉でスタートです。あつという間に参加者全員が笑顔になり、汗をかき、大きな声が自然と出ていました。秋の味覚狩り、綱引きと普段の運動不足気味の体も暖まり、自治会副会長の閉会の言葉の頃には空腹でお弁当が待ち遠しく感じられました。はまなす荘に帰り文字通りおいしくごはんをいただきました。皆さんと楽しいひとときを共有できたこと、とてもうれしく思いました。



クリスマス・忘年会

十二月十三日にパレスいわやにて、クリスマス・忘年会を開催しました。今年度も利用者さんや職員だけではなく、日頃お世話になっているボランティアの方を招待して、計八十六名で料理を囲みながら、クリスマス・忘年会を楽しみました。

まずはクリスマス会です。利用者さんが職員と一緒にキャンドルサービスを行いました。その後、賛美歌を皆で歌ったり、利用者さんによる聖書拝読でクリスマス気分を盛りあげてくれました。

忘年会では、利用者さんによるカラオケを行いました。また、職員の歌に合わせ利用者さんが踊るコーナーや職員による絵本の読み聞かせも行いました。

恒例のサンタさんが登場してのプレゼント交換は、皆さん、素敵なプレゼントを受け取り「これほしかったの」「すごい」などの言葉が聞かれました。

グループ旅行

一泊



1 班

グループ旅行一班は、七月五〜六日の一泊で東京上野動物園とスカイツリーの旅に出かけました。動物園に着く前のバスの中では、晴れることを期待しつつ、空とにらめっこしながらの移動でした。パ



ンダに会う前に「花の舞」でお腹を満たし、いざ出発。あいにくの雨でしたが、合羽を着て皆で二列に並んで、少し大きくなって木登りしている『シャンシャン』を観ることができました。宿には歩いて向かい、美味しい食事を頂きながらカラオケで自慢の十八番をうたっていました。

二日目もあいにくのくもり空でしたが、スカイツリーの展望台に上って、雲の切れ間から見える東京の街並みを身を乗り出して下を覗く人、怖いと言って腰が引けてしまう人がいました。家族へのお土産とお土産話を持った無事に帰ってきました。

2 班

グループ旅行二班は、十月三日〜四日に鎌倉・東京方面に行きました。天候にも恵まれ、一日目は、鎌倉大仏見学、鶴岡八幡宮を参拝し鎌倉散策を楽しみました。宿は横浜中華街のホテルに宿泊。美味しい料理とビンゴゲームで盛り上がりました。

二日目は東京スカイツリーを見学。高い所から見ると東京の景色は息をのむ程の素晴らしさ。記念写真を撮ったり、お土産を買ったり思い思いの時間を過ごしました。



見学だけでなく、バスの移動時間も、添乗員さんのガイドに耳を傾け、二日間のバス旅行を満喫する事ができました。来年も笑顔で楽しい旅行に参加できる様に、健康に気を付け過ごしましょう。



グループ旅行

日帰り

日帰り班

グループ旅行日帰り班は、十月二十三日にさわやかな秋晴れの下楽しんできました。午前中は「岩瀬牧場」を見学し、動物達とふれあう中、色鮮やかな牧草地に座りそれぞれ解放感を満喫し素敵な満面の笑みが印象的でした。



午後からは、母畑温泉八幡屋に向かい美味しい食事を愉しみ、食後は昔懐かしいくじ引きと大いに盛り上がり、たいへん楽しいひと時を過ごすことができました。帰りには買い物もして、参加された利用者の皆さんからはまた来年も旅行に行きたいとの感想が多く聞かれました。

日帰り医務班

グループ旅行日帰り医務班は、十一月八日に、アクアマリンふくしまの見学と雨情の宿「新つた」にて食事をしてきました。



は、多くの魚をゆっくりと見て回ることができました。お土産売り場では、利用者さんそれぞれコップやお菓子などを購入していました。

次に、雨情の宿「新つた」では、豪華な料理を食べ、カラオケやビンゴゲームなどを楽しみました。日頃から体調管理を一番に支援

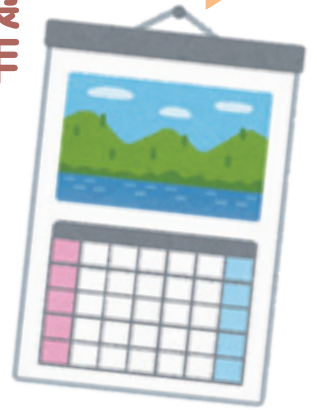
を必要とする利用者さんなので日帰り旅行になりましたが、少ない時間の中でも、多くの利用者さんの笑顔を見ることができました。また、バスの中での移動時間も、車窓からの景色に感動したり美味しいお菓子を食べるなど、楽しく過ごすことができました。利用者さんにとって、楽しい思い出の一つになったのではないかと思います。



はまなす荘 カレンダー製作

はまなす荘の年中活動の一つである「さくら班」の利用者十九名と支援員五人で四月から二〇一九年のカレンダー製作を行いました。十二月のクリスマス・忘年会までに仕上げられるように製作に励みました。少しでもさくら班の利用者全員が参加できるように職員がそれぞれ工夫し、とてもすばらしい自信作ができました。

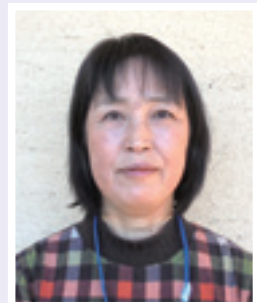
カレンダーはA4サイズのもの、A3サイズの2種類にしました。クリスマス・忘年会の招待者の方にお礼として配り、法人の施設には利用者と一緒に配りました。「楽しみに待っていました」と言ってくれてとても嬉しかったです。



New Face Introduction

新入職員紹介

- ①名前
- ②職種
- ③趣味・特技
- ④抱負



①鈴木理恵子(すずきりえこ)

②事務補助

③DVD鑑賞

④一日も早く仕事に慣れ、皆さんの役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願います。

がんばります!!



寄附

藁谷 司様
クレハ労働組合様

(順不同)

表彰

精神保健福祉功労者表彰
若松 幸枝 看護師



退職職員

十一月三十日付で事務員の柳井 拓子さんが退職されました。



編集後記

今年、亥年ですね。亥年は、無病息災の年とされています。健康な一年になりますように……。

